

ぜんそく 喘息の治療

行つて、見て、聞いた

① 症状は、咳、痰、息苦しさとゼーゼーなどの喘鳴

②治療の主役となるべきは吸入ステロイド薬
③成人の喘息は一生つきあう心構えが大切

喘息患者が増えている。'08年は'60年代に比べ成人で約3倍、小児で6倍以上になつたといふ。病気の原因はいまだ解明されていないが、ハウスダスト、ダニ、花粉などのアレルギーや大気汚染などの環境問題と大きく関連しているといわれる。さらには大きな問題は、我が国では年間2500人あまりの患者が喘息で亡くなつており、その半数は軽・中等症患者の突然の発作が原因だということだ。これらの要因のひとつに、海外に比べて吸入ステロイド薬によるコントロールが十分でないという指摘もある。今回はそんな喘息

「とどゼーゼーなどの喘息は吸入ステロイド薬をあう心構えが大切治療の最前線を取材した。

取材した佐野虎ノ門クリニックの佐野靖之医師（院長）によると、喘息治療においてまず大切なのは、適切な検査と診断だ。という。検査には、血液検査や皮膚反応テストなどいくつかの方法があるが、佐野医師は、「スパイロメトリー（呼吸機能検査）」を最も重視しているのだとか。

「気道の中枢から末端までの状態が把握できますし、喘息のか肺気腫なのかといった、病気の種類も分かります。喘息の診断的第一歩といえるで

「疲れやすくなつと/or、物
がよく見えられないといった症
状を訴える患者さんがいます。
過労を戒め、生活指導まで含め
て喘息治療を行うと、症状はグ
ンとよくなります」（佐野医師）

ステロイド薬普及率
日本は米国の半分

今週取材した
医師・病院

佐野虎ノ門クリニック
院長
佐野清之 医師
住所／東京都
港区西新橋1-20-3
虎ノ門法曹ビル102室
電話／03-5157-0744

その他

福島県立医科
大学附属病院
呼吸器内科
住所／福島県福島市光丘1-1
電話／024-547-1111

昭和大学病院
呼吸器・アレルギー内科
住所／東京都品川区
旗の台1-5-8
電話／03-3784-8000

新橋アレルギー・
リウマチクリニック

住所／東京都港区新橋
2-16-1 ニュー新橋ビル318

電話／03-3091-3404
神戸市立医療センター中央市民病院
呼吸器内科
住所／兵庫県神戸市
中央区港島中町4-6
電話／078-302-4321

和歌山県立医科大学附属病院
精神科 アレルギー内科
住所 / 和歌山県和歌山市
紀三井寺811-1
電話 / 022-542-2200

久留米大学病院
呼吸器内科
住所／福岡県久留米市旭町6
電話／0942-35-3311

ドを中心には、ランスよく薬剤を使うことが大切だと佐野医師は力説する。

「日本の吸入ステロイド薬の普及率は30%程度で、欧米諸国の約半分です。歐米レベルになれば、喘息死はないのではないか」と、吸入ステロイド薬の効果を述べた。

「いたつて簡単だ。吸入どうがいを規ばよい。口内カンの違和感などの副作用はあるが、いずれも身的な影響はほとんどない。昨年には、気管支拡張効果をも登場し、よりだが、吸入スルブリウムの治療法が一般的

「はほとんど起つ
いでしようか」
ト葉の使用法は
朝晩1回ずつ、
規則正しく行え
ンジタ症、のど
副作用がまれに
も局所的で、全
くこんどないとい
抗炎症作用と
をあわせ持つ合
便利になつた。

いのが現
正しい用
入指導が
いう。
「ほかの
者さんを
ド薬以外
果、吐き
副作用に
多い。そ
イド薬の
を減らせ
くなりま
一方で

（上）マスクの息を吹き込み、ビースの検査で気道の狭窄を確認する。左側は正常な喉頭像、右側は喉頭狭窄像。
（中）血液中の酸素濃度を測る装置。検査結果から呼吸状態を推定する。
（右）喉頭鏡による喉頭部の観察。左側は正常な喉頭像、右側は喉頭狭窄像。

あると佐野医師は指摘する。
「症状が少しよくなると薬を使
うのをやめ、かえつて症状を悪
化させてしまう。発作がないと
きにも薬を習慣的に使い続ける
ことが大切。いい状態を保てば
肺機能はもっとよくなります」
受診は、喘息治療を専門とする
医療機関なら安心だろう。日
常生活に密接に関わる病気だけ
に、医師が「患者の生活の背景
を理解し、生活指導までしてく
れるかどうか」も確認したい。
喘息に限らず、慢性疾患の治
療法は日夜進歩しているといつ
ても過言ではない。実際、高価
ではあるが、最重症者向けの喘
息治療薬も登場した。いつもど
同じ薬や治療法が、現在の標準
治療なのかどうかは、患者とし
てもぜひ気にしてほしいことだ。
調剤薬局の薬剤師に相談するな
ど、案外、身近に調べる方法は
あるのだ。

が漏れないないように
を付け、簡状のマ
息を吹き込む。
を吸つて……。ハ
ら一気に吐いて！
吐いてッ！」
た患者の呼気から
呼吸による肺活量
秒間に吐き出せる
を知ることができ
値と問診票の内容
度を判定し、4段
治療法から最適な
ていくことになる。
てまず思い浮かぶ
ルギー性喘息」だ
体は体内に侵入し
ルスを免疫システ
ムによって排除し
ようとするが、あ
る特定の物質（抗
原、アレルゲン）

が侵入すると、免疫システムが過剰に反応（アレルギー反応）して気道に炎症を起こす。前述のハウスダストやダニ、花粉などはアレルゲンの代表格だ。

一方で、抗原がはつきり特定できない「非アレルギー性喘息」なるものも存在する。両者とも成人してから突然発症する例が多く、40代から60代が発症のピークというから要注意だ。

「風邪やストレスなどが引き金になります。成人の喘息患者のうち、小児喘息だった人は2割から3割ほど。多くは、何の前触れもなく、ある日突然喘息になってしまふのです」（佐野医師）

咳や痰が出る、のどがぜーぜーするといった症状が止まらない場合、アレルギー体質ではないからそのままにしておくのには危険なのだ。悪化する前に医

